



令和元年度 第3回白井市在宅医療・ 介護連携、認知症対策推進協議会

2019.12.12(木)

<目次>

- 1. 認知症初期集中支援チーム上半期活動実績、次年度方針**
- 2. 在宅医療・介護連携推進事業の評価指標について**
- 3. 在宅医療・介護連携ICTシステム検討ワーキングの報告**
- 4. 第2回しろい在宅医療フォーラムについて**
- 5. 課題別ワーキングの取り組み報告**

1. 認知症初期集中支援チーム

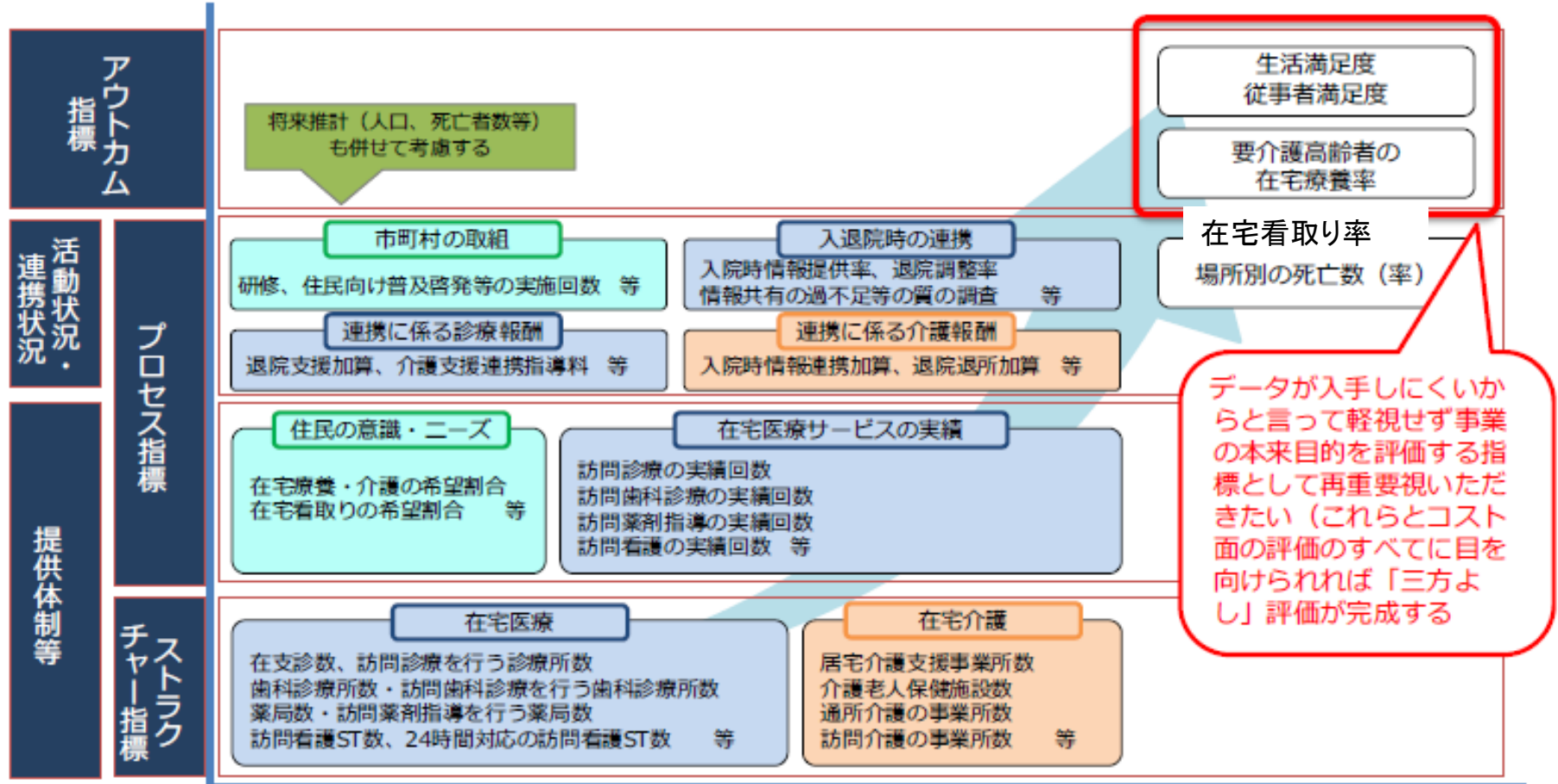
上半期活動実績、来年度の活動方針

資料1 「認知症初期集中支援チーム 上半期実績報告と検討事項」

2. 在宅医療・介護連携推進事業の 評価指標について

在宅医療・介護連携推進事業における指標のイメージ

○ 地域の課題や取組に応じて、必要な評価指標を検討、選択することが重要。



※実績値は「後期高齢者1万人対」など人数比で把握するようにして、規模の異なる市町村間での横比較ができるようにする必要あり

参考) <http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000061944.html>

出所) 地域包括ケアシステムの構築に向けた地域支援事業における在宅医療・介護連携推進事業の実施状況および先進事例等に関する調査研究事業 (平成28年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業 野村総合研究所)

資料2 「評価指標の種類、具体的な指標」

①地域の課題の分析や事業の進捗状況を確認するための指標

ストラクチャー指標(資源等)
プロセス指標(実績値)

②在宅医療・介護連携推進事業を進めた結果として、どれだけ目標の状態に迫ったかを示すための指標

アウトカム指標(成果指標)

在宅医療・介護連携推進事業における アンケート調査について

- 課題の把握、事業の進捗状況の確認のため、在宅療養患者・家族の声、医療・介護従事者の声など**数値では表せない情報**も重要



- アンケート調査の実施が必要

市民

ケアマネ

医療職

市民

第8期高齢者福祉計画(2021~2023年度)を策定する上で、基礎資料を得るためにアンケート調査を来月実施予定。
(対象者: **要支援1.2 総合事業対象者500人、65歳以上高齢者2,000人**)

在宅医療介護連携に関わることについてアンケート項目に追加。 →次項にアンケート項目記載

高齢者福祉計画アンケート調査の追加項目 (在宅医療介護連携に関わる項目)

1. 介護が必要になったとき、どんな暮らし方を希望したいですか。

在宅介護・在宅医療の希望の把握

- 1) 家族からの介護を受けて自宅で暮らしたい
- 2) ホームヘルパーなどの介護サービスや医師による訪問診療を利用して自宅で暮らしたい
- 3) サービス付きの高齢者向け住宅や有料老人ホームなどに転居して暮らしたい
- 4) 特別養護老人ホームなどの介護施設に入所して暮らしたい
- 5) その他
- 6) わからない・まだ考えていない

2. あなたの死が近くなった際に受けたい医療・療養、または受けたくない医療・療養について、ご家族等や医療介護関係者とどのくらい話し合ったことがありますか。

アドバンス・ケア・プランニングの普及状況

- 1) 詳しく話し合っている
- 2) 一応話し合っている
- 3) 話し合ったことはない

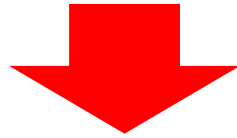
【2. で3)話し合ったことはない】の方のみ】回答

これまで話し合ったことはない理由は、次のどれですか。

- 1) 話し合いたくないから
- 2) 話し合う必要性を感じていないから
- 3) 話し合うきっかけがなかったから
- 4) 知識が無いため、何を話し合っているかわからないから
- 5) その他

ケアマネ・
介護職

医療職



案) 独自にアンケート調査を実施

1. 対象

ケアマネジャー等の介護職

医療関係者(医師、歯科医師、訪問看護師、薬剤師、リハビリ職)

2. 調査実施時期

未定 (令和2年度)

3. 調査項目

未定 → 次回協議会でアンケート調査案を提示

※前回は、平成28年度に実施

(在宅医療の実施状況や課題、在宅医療に取り組めない理由、医療・介護連携上の課題等)

3. 在宅医療・介護連携ICT

システム検討ワーキングの報告

日 程	内 容
第1回 8月22日	<ul style="list-style-type: none"> ●説明 「医療介護連携のための情報共有システムとは」 「ICTの普及状況について（全国・県内）」 ●デモンストレーション「カナミックネットワーク」 ●意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・現在の情報共有手段（電話・FAX・ノート等）における課題 ・ICT導入の目的や活用したい場面 ・ICTを導入した場合の懸念事項
第2回 10月24日	<ul style="list-style-type: none"> ●デモンストレーション「メディカルケアステーション」 ●意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した情報連携システムを導入すべきか ・それぞれの立場で必要な機能について ・運用に関わる職種や機関、対象者について ・既にICTを導入した自治体で課題になっていること
第3回 11月28日	<ul style="list-style-type: none"> ●デモンストレーション「バイタルリンク」 ●意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・デモンストレーションを受けたシステム3社の比較 ・ICT検討ワーキングとして推薦するシステムの選定 ●説明 ICT導入に向けた今後のスケジュール

計画

- 地域課題、要求事項の抽出
- ICTを活用した多職種間情報共有ネットワークの必要性の検討
- 県内ICT導入自治体担当者へのヒアリング
- 庁内関係課への確認(情報セキュリティ、個人情報保護方針等)
- 事業概要の決定
- システム業者の選定・契約
- 白井市における運用ルールの設定 ← **関係者で話し合いが必要**
- 事業計画の立案

運用

- 運用に向けた文書作成(運用管理規定、利用手順書の作成)
- 医療・介護関係機関への説明会開催
- 在宅患者の同意取得(同意方式を決定、説明資料作成)
- **システム導入、運用開始 (開始時期：未定)**
- 評価、課題整理(事業評価の仕組み作成)

4. 第2回しろい在宅医療フォーラム 開催報告

第2回しろい在宅医療フォーラム

- 日程：12月8日（日） 午後1時30分～
- 会場：白井市保健福祉センター2階 検診室
- 参加者：101名 ※内訳は別紙報告書参照
- 内容

【第1部】

- ・講演「自らが望む人生の最終段階を過ごすためには」
講師 もりや内科・呼吸器科クリニック 森谷哲郎 氏

- ・寸劇「人生会議」

市内医療・介護職による劇団が、自宅での看取り場面を演じます。人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）について、寸劇を通して分かりやすく伝えます。

2019年12月8日
第2回 しろい在宅医療フォー

自らが望む人生の最
過ごすために



もりや内科











人生会議





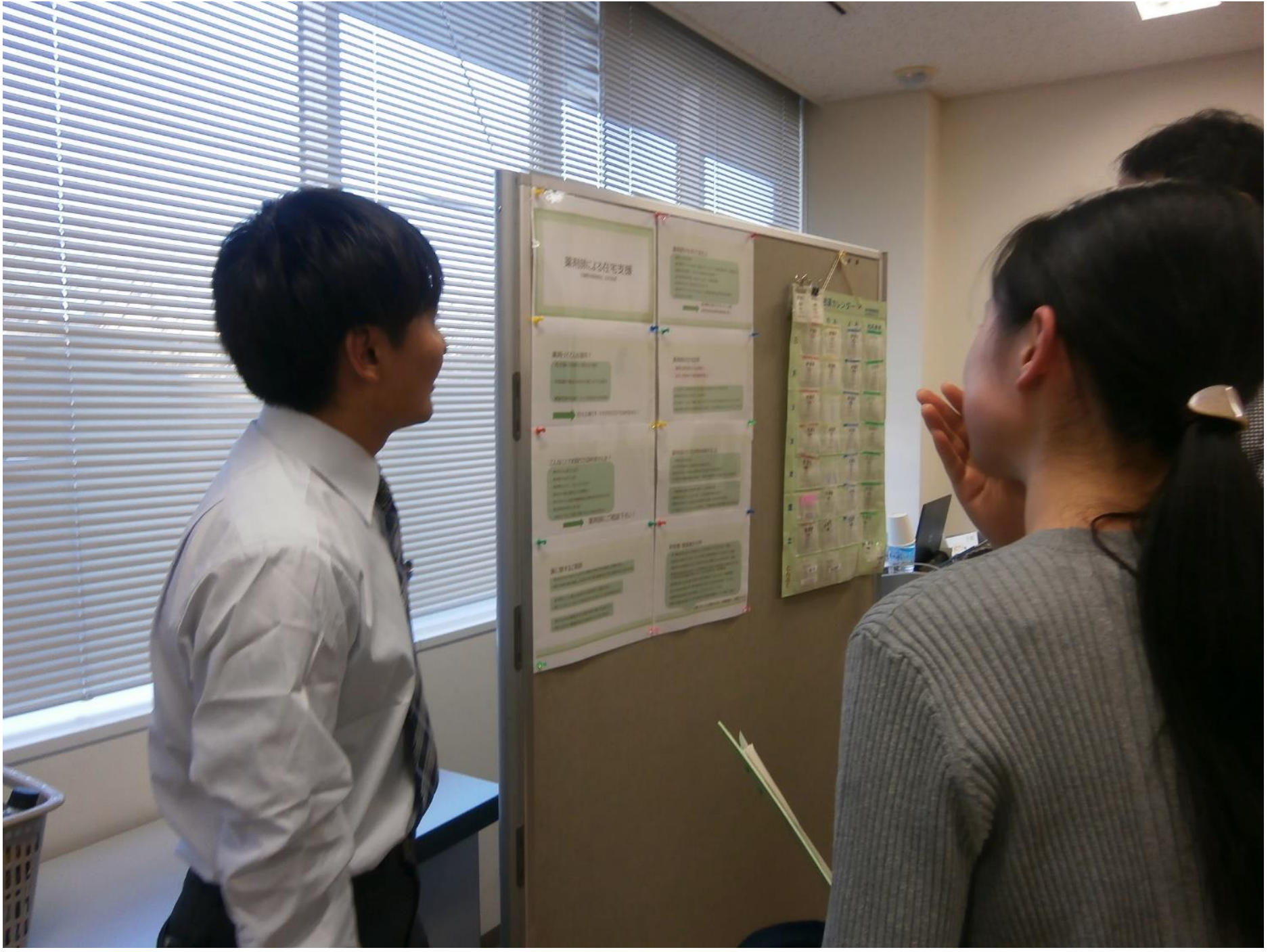




第2回しろい在宅医療フォーラム

【第2部】

- 介護と医療の相談・展示コーナー
(薬剤師会、ケアマネ協議会、リハ職連絡会、訪問看護ステーション、ヘルパー連絡会、消防署)
- 健康チェックコーナー(骨密度・体組成)
- 福祉用具展示
- 市内介護施設利用者によるちぎり絵作品展



ヘルパー 連絡協議会

ホームヘルパー
の仕事とは

身体介護

家事援助

入浴介助

排泄介助

調理

買い物代行



更衣介助

食事介助

洗濯

掃除



外出介助



市
薬劑部

介護なんでも相談

介護のプロケアマネジャーが
皆様の疑問にお答えします！
白井市介護支援専門員協議会

介護支援専門員
協議会





QRコード
持っていますか？







福祉用具
展示

ママ、パパ、
タバコ、
かわらないで!!







5. 課題別ワーキングの取り組み報告

在宅医療・救急医療連携WG

今年度は、「介護施設や自宅における救急時、看取り対応の課題と対応」について検討

<第4回WG 11月28日開催>

以下の問題に対する解決策とワーキングとして取り組めることの検討を行いました。

1. 延命についての意向確認(ACP)・意向の共有の問題
2. 介護施設の看取り体制・方針の問題
3. 看取り・急変時対応マニュアルの活用や改訂がうまくいっていないという問題
4. 介護施設職員の急変時の対応力についての問題

1. 延命についての意向確認(ACP)・意向の共有の問題

＜望ましい状態、解決策＞

- 元気なうちからアドバンスケアプランニングに取り組んで、自分の意向を周囲に伝えておく。
- 身寄りのない方には、市の職員やケアマネなどが元気なうちに急変時の対応など意向の確認をしておく。
- 施設入所時に意向を確認し、書面に残して、施設と家族が共有する。入所後は定期的、あるいは身体状況の変化に合わせて、本人・家族の意向確認が行われる。
- 施設・病院が欲しい、本人(家族)が残したい情報が一致した書面があるとよい。
- 救急医療情報シートに「延命治療」に係る項目を追加する。キーパーソンのサインも記入する。
- 119番通報することで救急システムが動くことを啓発する。
- 救急隊から確認される内容を可能な範囲で事前準備しておく。

2. 介護施設の看取り体制・方針の問題

＜望ましい状態、解決策＞

- 施設の方針が「看取りをする」方向に変わってほしい。
- 看取りを積極的に行っている施設の実際の事例を学ぶ機会があると良い。
- 嘱託医や協力医療機関と、看取りについての協力連携体制が構築される。

3. 看取り・急変時対応マニュアルの活用や改訂がうまくいっていないという問題

<望ましい状態、解決策>

- 施設看取り対応について学ぶための研修会を実施する。
- 施設全体で取り組んでいくしかないので 看取りマニュアルを作成していくなど、話し合いを始める。
- 急変時対応マニュアルの見直しにあたり、関係機関(医療機関、消防署)からアドバイスを受けたい。
- 救急要請をするまでのマニュアルを作る。救急要請時に伝える情報を決めておく。

4. 介護施設職員の急変時の対応力についての問題

＜望ましい状態、解決策＞

- 急変時対応力を向上させるために講習会を実施する。
応急手当講習にとどまらず、急変発見時から救急要請までの流れ、救急要請の基準、救急隊員への申し送りについて
- 職員による経験差があっても(新人でも)対応できるマニュアルがあると良い
- 救急医療情報シート、介護施設用シートの普及が進む。
- シート情報内容に変更があった場合、更新が適宜されるよう運用ルールが浸透する。

令和元年度救急医療情報キット配布実績

キット配布数(2019.4~11月末)	累計(H29.12~)
673	2,151

令和元年度救急医療情報キット活用実績

※令和元年度市内65歳以上の救急出動件数 789件(11月末)

自宅用シート	112件
介護施設用シート	69件

多職種連携研修企画WG

第3回WG 11月20日開催

第3・4回 多職種連携研修の企画を検討



第3回 「多職種で支える在宅看取り」

第4回 「緩和ケア病棟の実際について」(案)

第2回多職種連携研修会 報告

日時：令和元年10月29日 18時～20時
テーマ：『多職種で支える入退院時支援』

<第1部>

- 「白井市入退院連携ルールBOOK」の完成報告
- 「病院での入退院時支援の取組み」
北総白井病院、白井聖仁会病院、千葉白井病院、
鎌ヶ谷総合病院の医療ソーシャルワーカーによる報告

<第2部>

- グループワーク
「入退院時支援における課題、解決策について」

参加者36名

(病院ソーシャルワーカー、看護師、ケアマネジャー、介護職、リハ職、地域包括支援センター職員)



<参加者の感想>

- ・日々の仕事を通じて電話や会議で接点のあるソーシャルワーカーとお会いできてとても「顔の見える関係」になれてありがたかったです。
- ・グループワークで日頃お話しする機会のない方ともっとお話しする時間があったもいいのではと思いました。

市民啓発WG

第4回WG 10月25日開催

第5回WG 11月15日開催

- 第2回しろい在宅医療フォーラムの企画、寸劇の練習

入退院時連携WG

第3回WG 10月25日開催

- 入退院時連携ルールBOOKの普及対策について
市内ケアマネジャー …… 説明会を開催
→ケアマネ向け説明会 11月11日に実施
市内病院スタッフ …… 院内研修の機会を活用
市外医療機関 …… 市外14病院に郵送
- 入退院時連携ルールBOOKの評価について
来年夏頃、関係者にアンケート調査を実施
ルールBOOKの認知度や入退院時連携における
課題について

認知症対策WG(ポワールの会)

11月16日(土)開催

●らくらく介護教室地域開催②(白井駅前センター)

参加者人数:19名 ポワールの会協力:9名

※次回2/21(金)富士センターで開催予定

11月30日(土)開催(まちサポ交流DAYステージにて)

●認知症周知啓発

徘徊対策周知の寸劇実施

※印西警察署の方の出演協力あり



PB300588